

今回のコロナ騒動で何が変わるのでしょうか？元の状態に戻るのでしょうか？一度経験したことは戻らないでしょう。特にコミュニケーションのツールが多様化したことは考えねばなりません。果たしてついていけるのでしょうか？

〈雑感〉“戦争知らない子供達”はフォークソングを代表する名曲。団塊最後尾を汚す愚生(1952生)にとり同世代共有の“若さ”の代名詞。その悠久平和を意図したメッセージソングに先の戦争に翻弄された世代に対するアンチテーゼとその裏返しの世代コンプレックスを強く意識したのは愚生だけ？翻ってそんな愚生世代も今や年金生活、若さの代名詞はもはやシニアの懐メロに(笑)...

この度収束気配を見せないばかりか第二波懸念さえ出始めたコロナ禍、戦後最大級の国難、この未曾有の艱難辛苦の体験が先の戦前戦中世代同様歴史的使命として、冥土へのとっておきの土産となり後世への教訓ともなれば不幸中の幸いと解釈したいものです。(編集部:宮本)

■今季初めての高碓達之助研究会開かれる

久しぶりの例会が6月15日クロスパル高槻で12名参加のもと開催されました。

今回は我が会に参加なさって3年になる川崎さんをコメンテーターとし、まず「高碓達之助を学ぶ会に入会した理由」「東アジアウォッチャーとなった理由」が話されました。そのあと北村会員もコメンテーターに加わり、今までの研究の経過と会員各位共に各自が学習した意見・情報をパネルディスカッション方式でフリートークの形で発表されました。机をコの字型に配置して、司会・参加者の区別がない形で実施されました。

さらに高碓に関するメインテーマとして「政治家として高碓達之助」で、サブテーマは村上友章先生の論文「シューマンプランから見た高碓達之助」をとりあげ、今回このテーマを選んだ理由、その中に置いてのポイントとなる事績について自由発表の形で進められました。

ポイントとなるキーワードとしては、周恩来・高碓満州鉄鋼業・L-T貿易・池田隼人・海洋国家論大陸発展論・日満華の国境を超越した大東亜重工業計画・バンドン会議、などで、各人の多角的な視点からの意見で、知識・経験値を相互に高めることが出来ました。

今回の結びとしては、各自の活発な意見のなかから、「日本は第二次世界大戦の敗戦までの歴史教育で学校教育が終了してしまった。そのため、現在に至るまでの近現代史を正しく認識しないとアジア近隣諸国とも本当の意味で友好的な交際ができなくなる恐れがある」と認識できたことでした。

次回7/6も川崎会員の進行で、引き続き「政治家高碓達之助」を開催します。

■勉強会開催のご案内(7月~10月)

状況が不安定の中、4か月の予定を下記に組んでみましたので、ご参加のほど、よろしく願います。

日	高碓関係	日	会員スピーチ
7/6	政治家 高碓川崎会員	7/20	高槻の政治家 吉田前議員
8/3	高碓の秘書 小西甚右衛門の功績 櫻井会員	8/17	我が東洋製罐での生活 東罐会員
9/7	高碓と平頂山事件 北村会員	9/21	休会
10/5	満州関係 調整中	10/19	とうとう戦争が始まった 三輪会員

なお、8/3の勉強会は“高碓達之助に学ぶ会”との共催で行います。教室の環境確保のため、事前にTEL/FAXでの連絡をお願いいたします。

(監修:北村・川崎)

■令和元年度収支報

1. 経常収益		
受取会費	44,000-	
受取寄付	28,000-	
事業収入他	287,900-	359,900-
2. 経常費用		
事業経費	207,403-	
管理経費	174,712	382,115-
当期増減額		▲22,215-
前期繰越額		195,238-
次期繰越額		173,023-